

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	発達支援室クオール伊勢（くじら組）		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日		～ 2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2025年12月8日		～ 2025年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に合わせた療育の提供ができること及び近い年齢のグループ療育が提供ができています。	子どもをよく観察しカンファレンスを重ね、一人ひとりに何が必要かを検討し実施している。	保護者の方や関係機関との連携を深め、子どもの成長を見守り療育を提供していく。 学習会や研修などで、専門知識や技術の習得を行い、療育の質の向上を目指していく。
2	常勤児童指導員及び保育士を各クラス3名ずつ配置し、必要な場合は、個別対応にも応じることができています。	ほとんどが常勤職員のため、共通認識ができやすく、責任の所在もはっきりするので、療育の質を高く保てる。	学習会や研修を重ねて、子どもの発達状況に応じた療育を提供していきたい。
3	グループの中に小児科医院があるので、医療機関との連携が取りやすい。また、必要な場合は知能検査及び発達検査の実施ができる。	保護者との相談の中で医療機関への相談が望ましい場合は受診の紹介をして不安を解消できるようにしている。	保護者の方との面談を実施する中で、どのようなことに対して不安やご心配になっておられるのかを理解できるように努めていく。
4	子育てに対して意識の高い保護者が多くおられる。	子どもに対して共通認識が持てるように、面談を大切にしている。	保護者の方がご希望されることを実施していけるように努力していく。
5	清潔で心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保されている。	汚れた時だけでなく、開室前後には必ず清掃、消毒をしています。来室が楽しみなような玄関飾りを工夫しています。のびのびと体を動かすことができるプレイルームがあります。	引き続き清潔で心地よい空間作りをしていきたい。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの送迎に関すること。	保護者の方に送迎して頂く場合に、駐車場が狭く、ご迷惑をおかけする場合があります。	近隣の駐車場を空いている時には貸してもらえるようお願いしている。また、送迎の時間の時間差ができるようにご協力して頂いている。 混雑が予想される時間には職員が車の誘導や乗降車の手伝いをして、混雑回避に努めている。
2	戸外での活動ができにくいこと。	近くに子どもたちが利用できる公園等がないため、戸外での活動に制限がある。	職員の人数が確保できる時には、歩きや車で、公園等に出かけている。
3	保護者同士の交流の機会が少ない。	働いておられる方も多く、交流の場の設定が難しい。	2024年度より交流会を行っているので今後も計画していく。
4	地域の児童との交流を持つ機会が少ない。	事業所内での活動で完結してしまっている。 個人情報保護の関係上、難しいところがある。	地域で交流できる機会がないか情報収集をしていく。 保護者の方の意見も取り入れ、今後検討していく。